## 校内で学習する看護技術と卒業時の到達レベル

■卒業時の到達レベル

<演習>

I:単独で実施できる

I: モデル人形もしくは学生間で単独で実施できる II: 指導の下で実施できる II: 実施が困難な場合は見学する

●:校内実習で学習する技術項目 ★:講義で学習する技術項目

										各	専門領	域			
	技術の種類			実習	新 技術項目と卒業時の到達度 <b>➡技術項目</b>	備考	形態機能学V	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践
	技調環	1—	-		快適な療養環境の整備			•			•				
	術整境	2	Ι		臥床患者のリネン交換			•							
	食事	3	_		食事介助(嚥下障害患者を除く)			•							
2	の 援	4	_		食事指導				*	*	*			*	
	助技	5	-		経管栄養法による流動食の注入				•						
$\blacksquare$	術	6	_	-	経鼻胃チューブの挿入			_	*			_			
	排	7			排泄援助(床上、ポータブルトイレ、オムツ等)			•			•	•			
	泄	8			膀胱留置力テーテルの管理				*						
3	援助	9	_		導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入			•							
	技	<b>-</b>	I		浣腸 摘便			•							
	術	12	-	_	桐皮 ストーマ管理			•		•					
H	活	_	_		本格子での移送			•		<b>-</b>					
	動	_	I		手何子での移送 歩行・移動介助						•				
	休	-	1		移乗介助			•			•				
4	息援		_	-	******			•			•	-			
	助	17	_		自動・他動運動の援助						•				
	技術	18	1		ストレッチャー移送			•							
H	ניויר	_	_	_	足浴·手浴			•							
	•=	_	_		整容			•							
	清潔	_	_	_	ーー 点滴・ドレーン等を留置していない患者の寝衣交換			•							
		22	1	_	入浴・シャワー浴の介助				•						
	衣生				陰部の保清			•			•				
5	活	24	I	п	清拭			•							
	援助	25	Ι	Π	洗髮			•							
	技	26	Ι	П	口腔ケア			•			•				
	術	27	Ι	I	点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換										*
		28	Ι	Ш	新生児の沐浴・清拭								•		
	呼		Ι		体温調節の援助			•							
	吸循	30	Ι	_	酸素吸入法療法の実施			•				•			
6	技環	31	-		ネブライザーを用いた気道内加湿			•				•			
	術を 整	32	Ι	Ш	口腔内・鼻腔内吸引							•			
	える	33	_	-	気管内吸引				•						
		+	•		体位ドレナージ										
	創 技傷 術理				褥瘡予防ケア										
		_	Π		創傷処置(創洗浄、創保護、包帯法)					*					*
		1	H	-	ドレーン類の挿入部の処置			•		*		•			
		38	<b>+</b> -	_	経口薬(バッカル錠、内服薬、舌下錠)の投与 経皮・外用薬の投与			*				•		*	
		39 40	-		経及・外角架の投与 座薬の投与			•							
	与	-	+-		皮下注射										
8	薬の	42	1		筋肉内注射			•							
$\lceil \ \rceil$	技	43	_		静脈路確保・点滴静脈内注射			•							
	術	44		_	点滴静脈内注射の管理		1					•	1	1	
		45			薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤・抗悪性腫瘍薬を含む)			*							
		<b>-</b>	-	_	輸血の管理			*							
	処救	47	Ι	Ι	緊急時の応援要請			•							
9	置命 技救	48	Ι	Ι	一次救命処置(Basic Life Support:BLS)			•							
	術急	49	Ι	Ш	止血法の実際			•							
	/		Ι	I	バイタルサインの測定			•				•			
	状·生体機	51	Ι	Ι	身体計測							•	•		
		52	Ι		フィジカルアセスメント			•			•	•	•		
10		53	Ι		検体(尿・血液等)の取り扱い							•			
	能	04	_		簡易血糖測定		•								
	管理	_	_		静脈血採血							ļ .			•
Ш	埋	56	Ι	Π	検査の介助	1		*		*	*	*			

	技術の種類	番号	演習	実習	新 技術項目と卒業時の到達度 <b>⇒技術項目</b>	備考	形態機能学V	基礎看護学	地域・在宅看護論	成人看護学	老年看護学	小児看護学	母性看護学	精神看護学	看護の統合と実践
	感	57	Ι	Ι	スタンダード・プリコーション(標準予防策)に基づく手洗い			<b>A</b>							•
11	染予防の技	58	Ι	Ι	必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択・着脱			•							•
		59	Ι	п	使用した器具の感染防止の取扱い			4							•
		60	Ι	п	感染性廃棄物の取り扱い			•							•
		61	Ι	п	無菌操作			4							•
	術	62	Ι	п	針刺し事故の防止・事故後の対応										
	安全管	63	Ι	Ι	インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告										
		64	Ι	Ι	患者の誤認防止の実施								•		
		65	Ι	п	安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷防止)						•			*	
12	理の	66	Ι	Ι	放射線の被ばく防止策の実施										
	技術	67	Π	Ш	人体へのリスクの大きい薬剤のばく露予防策の実施										
		68	п	Ш	医療機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ、心電図モニター、酸素ボンベ、人 工呼吸器等)の操作・管理							•			•
13	の技術	69	Ι	П	安楽な体位の調整			•							
		70	Ι	П	安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア					•			•		
		71	Ι	п	精神的安寧を保つためのケア					•					
14	術丨	72	Ι	I	患者とのコミュニケーション			•	•	•	•	•		•	•
		73	Ι	I	医療者とのコミュニケーション			•	*		*				•
		74	Ι	I	家族とのコミュニケーション			*	•	•	*	*		*	
l' <sup>-</sup>		75	Ι	I	他職種とのコミュニケーション				*		*			*	•
	ショ														
	ン														
15	その他	追加	$\angle$												